

国スポ改革タスクフォース委員一覧

No	分野	役割	氏名	所属
1	日本スポーツ協会	座長	山本 浩	公益財団法人日本スポーツ協会 常務理事 国民スポーツ大会委員会 委員長
2	マーケティング・ブランディング・協賛	委員	稲村 彰映	セイコーグループ株式会社 コーポレートブランディング部 マネージャー スポーツ担当
3		委員	坪井 純子	麒麟ホールディングス株式会社 取締役副社長
4		委員	日比野 克彦	東京藝術大学 学長
5	チケット・ホスピタリティ	委員	森 章	株式会社ホリプロ 代表取締役専務
6	メディア・広報・通信・DX	委員	忠鉢 信一	元朝日新聞社 編集委員
7		委員	村松 佐和子	日本放送協会 オンデマンド業務室長
8	宿泊・輸送	委員	松井 信乃	東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット ユニットリーダー
9	地方創生・まちづくり・スポーツコンプレックス	委員	上林 功	日本女子体育大学 教授
10		委員	高岡 敦史	岡山大学 准教授

No	分野	役割	氏名	所属
12	アスリート	委員	檜崎 教子	(柔道) 福岡教育大学 教授
		委員	皆川 賢太郎	(スキー) 一般財団法人冬季産業再生機構 代表理事
13	弁護士	委員	岸 郁子	弁護士 一般社団法人全日本テコンドー協会 専務理事
14	中央競技団体・都道府県スポーツ協会	委員	磯貝 美奈子	公益財団法人日本陸上競技連盟 強化部長
15		委員	坂東 美紀	公益財団法人京都府スポーツ協会 常務理事 公益社団法人日本カヌー連盟 専務理事
16	パラスポーツ関係	委員	藤原 正樹	日本パラスポーツ協会 常務理事 日本パラリンピック委員会 副委員長
17	開催都道府県関係	委員	宮原 耕史	佐賀県スポーツ協会副会長 元佐賀県SAGA2024・SSP推進局 局長
18	全国知事会	委員	富樫 誉	全国知事会 調査第三部 部長
19	スポーツ庁	委員	田中 秀和	競技スポーツ課長

国スポ改革タスクフォースについて

<第1回>

1. 期日 令和7年9月1日(月)13時から15時

2. 会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階大会議室(Web会議併用)

3. 主な協議内容

- 今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議「提言」の確認
- 第78回本大会(佐賀県)における新たな取組の確認
- タスクフォースの議論の進め方

<第2回>

1. 期日 令和7年11月25日(月)15時から17時

2. 会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室(Web会議併用)

3. 主な協議内容

- 大会の特徴について
- 新しい大会のイメージ

一般社団法人国スポサポートセンターについて

第1回臨時社員総会報告

1. 期日 令和7年7月16日(水)16時30分から
2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階
3. 出席者
(法人社員) JSPO(遠藤 利明会長)
(個人社員) 山本 浩、岩田 史昭
4. 主な協議内容
 - 各種規程の策定
 - 令和7年度事業計画(案)
 - 令和7年度収支予算(案)

【参考】

第1回理事会

1. 期日 令和7年7月16日(水)16時から
2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階
3. 出席者 会長 遠藤 利明、副会長 森岡 裕策、副会長 山本 浩、理事長兼事務総長 岩田 史昭、監事 藤田 裕司
※役職は国スポサポートセンターの役職

第1回臨時理事会

1. 期日 令和7年11月12日(水)16時から
2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階
3. 出席者 会長 遠藤 利明、副会長 森岡 裕策、副会長 山本 浩、理事長兼事務総長 岩田 史昭、監事 藤田 裕司
※役職は国スポサポートセンターの役職

JAPAN GAMES青森プレパーク

1. 目的: 国民スポーツ大会開催都道府県における機運の醸成、地域住民の方々のスポーツに触れる機会を拡充するとともに、「JAPAN GAMES」のタグラインの「スポーツは、もっとオモシロイ。」を体感していただく。
2. 開催日時: 令和7(2025)年9月21日(日) 11時～15時
3. 会場: カクヒログループスーパーアリーナ(青森市総合体育館)
4. 主催: 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
5. 後援: スポーツ庁
6. 協力: 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会
公益財団法人青森県スポーツ協会
公益財団法人日本陸上競技連盟／一般財団法人青森陸上競技協会
公益財団法人日本バレーボール協会／青森県バレーボール協会
公益財団法人日本体操協会／青森県体操協会
公益財団法人日本卓球協会／青森県卓球連盟
公益財団法人全日本空手道連盟／青森県空手道連盟
7. 参加者数: 小学生206名

～青の煌めきあおもり国スポ2026開催記念～
JAPAN GAMES青森プレパーク

7. プログラムスケジュール・講師・参加者数

教室等		対象学年など	講師(敬称略)	参加者数
11:00-11:50	オープニング、空手演武、準備体操、写真撮影	参加者全員	総合司会:寺川 綾、大橋 悠依 青森県知事 宮下 宗一郎 ミズノスポーツ振興財団 会長 水野 明人、専務理事 七條 毅 日本スポーツ協会 常務理事 山本 浩 他	
11:50-13:30	卓球教室	小学校4～6年生 (全学年、経験者に限る)	福原 愛	36
	走り方教室+JSPO-ACP	小学校1～3年生	和田 麻希、市川 華菜、春日 晃章	53
	バレーボール教室	小学校4～6年生 (全学年、経験者に限る)	迫田 さおり	46
	体操教室	小学校1～3年生	米田 功	36
	空手教室	小学校1～6年生 (全学年、経験者に限る)	清水 希容	35
14:00-15:00	アスリート交流イベント(じゃんけん大会)・クロージング			
合計				206 5

～青の煌めきあおもり国スポ2026開催記念～

JAPAN GAMES青森プレパーク



集合写真



空手教室



走り方+ JSPO-ACP教室



バレーボール教室



卓球教室



体操教室

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施概要

1. 主 催 : 公益財団法人日本スポーツ協会 文部科学省 滋賀県

2. 開催地 : 滋賀県 ※本大会の開催は第36回大会(昭和56年、びわこ国体)以来44年ぶり2回目

3. 会 期 : 【会期前1回目実施競技】 3競技

令和7年9月6日(土)～15日(月・祝) 10日間

・水泳、バレーボール(ビーチバレーボール)、体操(体操競技、新体操、トランポリン)

【会期前2回目実施競技】 1競技

令和7年9月21日(日)～25日(木) 5日間

・自転車

【本会期実施競技】 34競技

令和7年9月28日(日)～10月8日(水) 11日間

・陸上競技、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール(6人制)、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウェイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

※上記のほか特別競技(高等学校野球)、公開競技、文化プログラム、デモンストレーションスポーツを実施

4. 会場地 : 滋賀県下13市3町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市、京都府向日市

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施概要

5. 参加者数 : 正式競技・特別競技 選手・監督21,128名 本部役員・顧問1,153名 計22,281名
・ふるさと選手制度活用者 3,197名
・中学3年生参加選手 491名

6. 成績 : 男女総合成績第1位 (天皇杯) 滋賀県 第2位 東京都 第3位 京都府
女子総合成績第1位 (皇后杯) 滋賀県 第2位 東京都 第3位 京都府
*全成績は大会HPに公開

7. 式典

- ・総合開会式：9月28日（日）平和堂HAT0スタジアム（彦根市） 参加者 14,584名 *速報値
- ・総合閉会式：10月8日（水）平和堂HAT0スタジアム（彦根市） 参加者 9,987名 *速報値

8. 皇室のご臨席

天皇皇后両陛下	(総合開会式、大会関係者との御懇談、バドミントン競技会)
佳子内親王殿下	(総合閉会式、大会関係者のご夕食会、バスケットボール競技会)
寛仁親王妃信子殿下	(柔道競技会)
彬子女王殿下	(ボクシング競技会、ラグビーフットボール競技会)
瑠子女王殿下	(卓球競技会、剣道競技会、レスリング競技会)
高円宮妃殿下	(ホッケー競技会、サッカー競技会、バスケットボール競技会、 ソフトテニス競技会、ウエイトリフティング競技会)
承子女王殿下	(軟式野球競技会、アーチェリー競技会)

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施概要

9. 公開競技

- ・会 場 地：滋賀県下7市
- ・実施競技：綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ
バウンドテニス、エアロビック 計7競技

10. デモンストレーションスポーツ

- ・会 場 地：滋賀県下13市1町
- ・実施競技：インディアカ他 計26競技

11. 各競技会場におけるイベント事業

- ・実施競技：テニス競技他 計21競技

12. ドーピング検査

- ・競技会検査：検査人数・結果等精査中 *公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が実施

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施概要



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ

JAPAN GAMESパートナープログラムの実施

【第79回国民スポーツ大会(滋賀県)JAPAN GAMESパートナープログラム】※計15社

<JAPAN GAMESパートナー(協賛企業)>	
JSPO	滋賀県
<ul style="list-style-type: none">・大塚製薬(株)・ミズノ(株)・三井住友海上火災保険(株)・(株)セレスポ・(株)時事通信社	<ul style="list-style-type: none">・積水化学工業(株)・(株)滋賀銀行・(株)平和堂・綾羽(株)・(株)村田製作所・東レ(株)・ヤンマーホールディングス(株)・公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団・日東電工(株)・大和ハウス工業(株)

<看板掲出>

総合開・閉会式会場、各競技会場(計11競技種目、延22会場)にパートナー企業名ロゴ看板を掲出。

<おもてなし広場ブース出展>

パートナー各社企業PRなどのブースを開閉会式および陸上競技期間のうち、各社希望期間に出展



←看板掲出
↓



←ブース出展



国スポ・JAPAN GAMES PR施策の実施

①「JSPO TV 国スポチャンネル」の配信

みるスポーツ推進の一環として、インターネット動画配信サービス「JSPO TV 国スポチャンネル」にて滋賀国スポの式典、正式競技37競技および特別競技1競技の決勝の配信を行った。(一部競技のみ予選も配信)
競技のライブ映像配信だけでなく、アーカイブ映像の配信、取材記事の掲載といった様々なコンテンツを提供した。

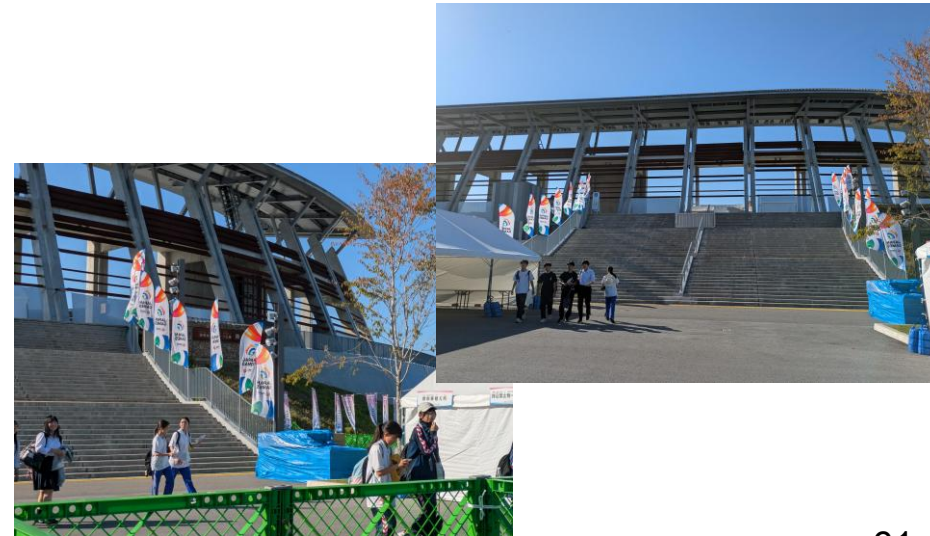
(以下、10/17時点速報値)

- ▶訪問者数
675,312人 (9月6日(土)～10月8日(水)の総ユーザー数)
- ▶閲覧数
7,007,446回 (9月6日(土)～10月8日(水)の表示回数)



②JAPAN GAMESスイングバナーの掲出

JAPAN GAMESブランド認知向上のための施策として、総合開・閉会式会場および陸上競技会場である平和堂HATOスタジアムにJAPAN GAMESスイングバナーの掲出を行った。



都道府県選手団本部役員JSPO-AT帯同義務化に向けた条件と状況一覧

指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会からの要請をうけ、各都道府県のJSPO-AT登録者数や各大会における都道府県選手団本部役員帯同実績を踏まえ段階的に「帯同義務化」を取り進めることとした。

(令和元年度第1回国体委員会)

【段階別諸条件】

第1段階（達成後「原則付き義務付け」）

No.	条件	状況
1	全国のJSPO-AT登録者数(当該年10月1日現在) 4,000名以上	第74回(2019年)時点で達成
2	各都道府県におけるJSPO-AT登録者数(当該年10月1日現在) 10名以上	第74回(2019年)時点で達成



第2段階（達成後「完全義務化」）

No.	条件	状況
1	全国のJSPO-AT登録者数(当該年10月1日現在) 5,000名以上	第77回(2022年)時点で達成
2	3年間(以下、特例措置期間)のうちに2大会連続で33都道府県以上がJSPO-ATを本部役員として帯同する。	未達
3	特例措置期間内に全都道府県が、JSPO-ATを本部役員として1回以上帯同した実績がある	未達

第79回国民スポーツ大会本大会(滋賀県) 都道府県選手団本部役員JSPO-AT帯同実績

都道府県	77	特	78	79	都道府県	77	特	78	79	都道府県	77	特	78	79
北海道					長野県					岡山県	5	4	2	3
青森県					富山県					広島県				
岩手県	1	1	1	1	石川県				1	山口県				
宮城県		1	2	4	福井県		2			香川県				
秋田県	3	3	3	2	静岡県					徳島県	1	1	1	1
山形県					愛知県	4	4	5	5	愛媛県	1	1	2	
福島県					三重県					高知県				
茨城県					岐阜県					福岡県	2	3	2	2
栃木県	1	1			滋賀県					佐賀県				
群馬県	3	3	3	3	京都府	1	1	1	1	長崎県	1	1	1	1
埼玉県					大阪府					熊本県	1	1		1
千葉県	1	1	1	1	兵庫県	1	1	1	1	大分県	5	4	6	3
東京都	1	2	2	2	奈良県	4	1	1	1	宮崎県				1
神奈川県					和歌山県	4	2	1	1	鹿児島県	2	5	3	2
山梨県	2	3	3	3	鳥取県					沖縄県	3	3	3	3
新潟県					島根県		1	1	1	合計人数	47	51	45	44
										合計派遣県数	21	24	21	23 ⁶³

JSPO-AT本部役員帯同義務化スケジュール

第79回大会での実績が条件を満たさなかったため、最短での義務化は第82回大会からとなった。

【義務化に向けたスケジュール(帯同義務化目標:第82回大会)】

回数 (年)	開催県	JSPO-AT 登録者数	各県登録者 10名以上	帯同 都道府県数	都道府県 派遣実績	内容
第74回 (2019年)	茨城県	4,139名	○	—	—	第74回本大会終了後 開催基準要項改定
第75回 (2020年)	鹿児島県	4,331名	○	—	—	—
第76回 (2021年)	三重県	4,729名	○	—	—	—
第77回 (2022年)	栃木県	5,002名	○	× (21)	×	3年間の特例措置期間(第1段階 77～78)
特別 (2023年)	鹿児島県	5,298名	○	× (24)	×	3年間の特例措置期間(第1段階 77～78)
第78回 (2024年)	佐賀県	5,616名	○	× (21)	×	3年間の特例措置期間(第2段階 特別～79)
第79回 (2025年)	滋賀県	6,116名	○	× (23)	×	3年間の特例措置期間(第3段階 78～80)
第80回 (2026年)	青森県	6,400名 (見込)	○	—	—	3年間の特例措置期間(第4段階 79～81)
第81回 (2027年)	宮崎県	6,700名 (見込)	○	—	—	第81回本大会終了後 開催基準要項改定予定(2028年3月～64)

都道府県選手団本部役員JSPO-AT帯同義務化に向けた現状と今後の取進め

事項	説明
1. 目的	<ul style="list-style-type: none">・JSPO主催事業における公認スポーツ指導者の活躍の場を創出すること・選手が安心してパフォーマンスを発揮できるよう日々の安全・健康管理、トレーニング環境の充実を図ること・選手団における不測の事態への対応に備えること
2. 目標	<ul style="list-style-type: none">・都道府県選手団本部役員JSPO-AT帯同義務化を果たすこと
3. 現状	<ul style="list-style-type: none">・帯同義務化に向けた条件(第2段階)については4年連続で未達成
4. 問題	<ul style="list-style-type: none">・帯同実績が増加していない。・派遣する都道府県が固定化している。
5. 課題	<ul style="list-style-type: none">・都道府県選手団本部役員におけるメディカル・コンディショニングスタッフの必要性の認識・JSPO-ATを派遣するための根拠不足
6. 施策	<ul style="list-style-type: none">・「国民スポーツ大会における医療・救護ガイドライン」の策定(令和7年5月)・「国民スポーツ大会におけるJSPO-ATの在り方について」の文書改訂(令和7年7月)※別添参照



- ・上記「施策」の内容を周知し、第80回大会における帯同都道府県数増加に向けた働きかけを行う。
- ・上記「目的」を達成するための新たな「目標」の検討を行う。

国民スポーツ大会における 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーのあり方について

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(以下「JSPO-AT」という。)は、スポーツドクターやコーチと緊密な協力のもと、以下 4 つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する指導者である。

- | |
|------------------------|
| ① スポーツ活動中の外傷・障害予防 |
| ② コンディショニングやリコンディショニング |
| ③ プレーヤーの安全管理と健康管理 |
| ④ 医療資格者に引き継ぐまでの救急対応 |

スポーツをする人の安全・健康管理への関心が高まっている昨今、JSPO-AT が果たす役割・意義は大きくなっており、国民スポーツ大会(以下「国スポ」という。)においても、様々な立場で活動している。

国スポでの活動において、JSPO-AT が有する知識や技能を発揮していくことにより、参加者の安全・健康のより一層の向上に寄与することが期待される。そのためにも、国スポ関係者が JSPO-AT の役割や活動内容を十分に理解の上、JSPO-AT を取り巻く体制や環境等の整備を進めていくことが必要である。

このような背景を踏まえ、以下に国スポにおける JSPO-AT の関わり方と具体的な業務モデルを示す。国スポに関係するすべての方々が、この内容を JSPO-AT のより良い活動に結びつけていただくことを望む。

I 国スポにおける JSPO-AT の関わり方

1. 都道府県選手団

1) 本部役員として帯同する JSPO-AT(以下「本部役員 AT」という。)

※ 「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める本部役員としての JSPO-AT

2) 競技団体スタッフとして帯同する JSPO-AT(以下「競技団体 AT」という。)

※ 「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める参加選手団以外の JSPO-AT

2. 開催地(運営者)

1) 競技会場における医療・救護スタッフとしての JSPO-AT

2) 開催地準備委員会・実行委員会における JSPO-AT

II 国スポにおける JSPO-AT の業務モデル

1. 都道府県選手団

1) 本部役員 AT

(1) 国スポ開催期間前

① 競技団体事前合宿および日頃からのコンディショニングサポート

② 競技団体 AT と連携し、情報、マンパワー、環境(トレーニング施設、医療機関、研究機

関など)等の支援

- ③ 都道府県選手団本部役員として帯同するドクター(以下「本部役員ドクター」という。)との連携
 - ・都道府県選手団参加選手に対するメディカルチェックへの協力
 - ・開催地の医療・救護関係情報の収集
- ④ 選手団からの関連情報の各競技団体、関連スタッフへの伝達
- ⑤ 各競技団体関連スタッフの情報収集および把握(メンバー、スケジュールなど)
- ⑥ 選手団持参用品類の確認、手配、準備
- ⑦ 選手の健康管理(外傷・障害予防)の啓発・指導
- ⑧ アンチ・ドーピングに関する啓発

(2) 国スポ開催期間中

- ① 参加選手へのコンディショニング
 - ・競技会場・宿舎における競技団体 AT の支援
 - ・JSPO-AT が帯同しない競技団体への支援
- ② 外傷・障害の予防に関する情報収集と指導
 - ・競技会場・練習会場・ウォーミングアップエリアの環境に関する情報(熱中症対策等に必要なものも含む)
- ③ 国スポにおける関連分野の情報収集
 - ・メディカル・コンディショニングスタッフミーティングへの参加
- ④ 各競技団体 AT との情報整理・共有・支援、環境支援
- ⑤ アンチ・ドーピングに関する活動
 - ・国スポ現地におけるアンチ・ドーピングに関する声かけや対応
 - ・ドーピング検査における、検査対象選手の同意のものの立ち会い
- ⑥ その他
 - ・本部役員ドクターと連携し、食事、環境、感染症等に対する環境における指導、対応
 - ・活動の内容に関する記録

(3) 国スポ開催期間後

- ① 活動内容に関する報告書作成
 - ・活動の立場や関わり方に沿って業務の内容や環境を関係者に報告
- ② 本部役員ドクターや各競技団体 AT との情報共有
- ③ 選手団持参用品類の整理、使用量や在庫の確認

2) 競技団体 AT

(1) 国スポ開催期間前

- ① 競技団体強化合宿・競技会および日頃のコンディショニングサポート
- ② 本部役員ドクター・本部役員 ATとの連携(報告、連絡、相談)
 - ・緊急時の連絡方法ルールの確認、作成
 - ・開催地の医療・救護関係情報の収集
- ③ 都道府県選手団の参加選手に対するメディカルチェックへの協力
- ④ 選手団本部からの関連情報の収集および把握
- ⑤ 選手の健康管理(外傷・障害の予防)啓発・指導
- ⑥ アンチ・ドーピングに関する啓発

(2) 国スポ開催期間中

- ① 参加選手へのコンディショニング
 - ・競技会場・練習会場・ウォーミングアップエリア・宿舎における選手のサポート
- ② 外傷・障害の予防に関する情報収集と指導
 - ・競技会場・練習会場・ウォーミングアップエリアの環境に関する情報(熱中症対策等に必要なものも含む)
- ③ 国スポにおける関連分野の情報収集
 - ・メディカル・コンディショニングスタッフミーティングへの参加
- ④ 本部役員ドクター・本部役員 ATとの連携および情報共有
- ⑤ 競技会場・練習会場・宿舎における緊急時の対応と確認(医療機関、救護施設、場所、連絡方法)
- ⑥ ドーピング検査への対応
 - ・ドーピング検査における、検査対象選手の同意のものと立ち会い

(3) 国スポ開催期間後

- ① 活動内容に関する報告書作成
 - ・活動の立場や関わり方に沿って業務の内容や環境を関係者に報告
- ② 本部役員ドクター・本部役員 ATとの情報共有
- ③ 選手団持参品類の整理、使用量や在庫の確認
- ④ 競技団体強化合宿・競技会および日頃からのコンディショニングサポート

2. 開催地(運営者)

1) 競技会場における医療・救護スタッフとしての JSPO-AT

(1) 国スポ開催期間前

- ① 救護所運営の計画・準備業務補助

(2) 国スポ開催期間中

- ① 医療・救護スタッフとして、一次救命処置、スポーツ外傷後の救急対応、傷病者搬送
- ② 救護所運営関係者との連絡、報告

(3) 国スポ開催期間後

- ① 活動内容に関する報告書作成
 - ・活動の立場や関わり方に沿って業務の内容や環境を関係者に報告
- ② 救護所備品・消耗品類の整理、使用量や在庫の確認

2) 開催地準備委員会・実行委員会における JSPO-AT

(1) 国スポ開催期間前

- ① 準備委員会・実行委員会として AT 関連事項に関する業務確認、準備
- ② AT 活動に関する体制・環境の整備
 - ・会場内のコンディショニングエリアの設置準備
 - (各会場、市町村、競技団体との設置確認、AT 人員確保(管理者含む)、備品・消耗品類の準備、場所確認(屋外の場合テント確保))
 - ・本部役員 AT に対する競技会場・ウォーミングアップエリアへの通行証発行または活動方法確認
- ③ 競技会場・練習会場・宿舎における緊急時の対応(医療機関、救護施設、場所、連絡方法)
 - ・活動に関係する資料の作成
- ④ 参加選手、スタッフ、観客への JSPO-AT に関する情報発信

(2) 国スポ開催期間中

- ① コンディショニングエリアの管理、運営
- ② 準備委員会・実行委員会関係者との連絡、報告業務
- ③ イベント会場(開・閉会式等)における救急対応(選手、スタッフ、観客)
- ④ 参加選手、スタッフ、観客への JSPO-AT に関する情報発信
- ⑤ 中央競技団体等と連携した体制・環境の整備

(3) 国スポ開催期間後

- ① 活動状況に関する報告書作成
 - ・活動の立場や関わり方に沿って業務の内容や環境を関係者に報告
 - ・JSPO-AT 関係会議における報告
- ② コンディショニングエリアにおける備品・消耗品類の整理

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)の各競技会場におけるイベント事業について

令和7年12月11日

	競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場		参加者・対象者
1	テニス		TENNIS PLAY&STAY (初心者・子供達を対象とした日本テニス協会が提唱するプログラム) コート・ラケット・ボールを利用しテニスに触れ合う機会をつくり楽しさを体験する。	令和7年9月28日(日)10:00～11:30 計1回	大津市大石緑地スポーツ村テニスコート	大津市	小学1年生～4年生の未経験者、幼稚園児・保育園児19名
2	ホッケー		ホッケー競技の魅力を伝える ・試合中におけるルールを中心にした解説 ・ホッケー競技の歴史や世界におけるホッケー競技の状況などを説明	令和7年10月2日(木)9:00～、12:20～	OSPホッケースタジアム	米原市	ホッケー競技観戦者
3	ボクシング		①山中慎介氏によるマสบクシングチャンピオンとのエキシビション ②くじ引き企画	令和7年10月8日(水)18:30～	能登川アリーナ	東近江市	一般来場者、国スポに出場している選手・関係者
4	バレーボール		元実業団選手によるバレーボール教室 ・ウォーミングアップ(ランニング各種、ストレッチ、ボールを使った遊び) ・パスの基本練習(オーバーパス・アンダーパス) ・レシーブの基本練習 ・アタックの基本練習(助走の仕方、スイングの仕方) ・記念写真撮影	令和7年9月28日(日)14:00～16:00	YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	草津市	草津市内中学校バレーボール部員 (生徒49人 保護者15人)
5	体操		The Taiso(ザ・タイソウ) (日本体操協会公認体操プログラム) 日常から手軽に実施することができる体操をもとに楽しさと爽快感を体験する。	令和7年9月14日(日)～15日(月) ※競技グループの入れ替わり時間及び表彰式の準備時間、約5～10分 ※3回	滋賀ダイハツアリーナ	大津市	競技を観戦に来場した観客(約500～1,000人)
6	バスケットボール	エスコートキッズ		令和7年10月6日(月)～7日(火) 各日1回	滋賀ダイハツアリーナ	大津市	ミニバスの選手各日12名 計24名
7	セーリング		①レースの観戦、実況放映及び解説 (1) 観覧艇による船上からの観戦 (2) レース状況及びレース結果をリアルタイムで中継 (3) ヨットの走らせ方、戦術、セーリング競技の方法及びルール等の解説 (4) オリンピック選手、上位選手、地元(滋賀県)代表選手などを紹介 (5) 躍動感溢れる選手のアクションを紹介 ②エコバック製作ワークショップの開催 (1) 環境保全活動に関する取り組み説明 (2) エコバック製作ワークショップ	①観覧艇: 令和7年9月28日(日)～29日(月) 各日3便 計6便 中継: 令和7年9月28日(日)～10月1日(水) ※レースが実施される時間帯 ②令和7年9月28日(日)～29日(月) 各日2回	大津市柳が崎特設セーリング会場	大津市	①選手・役員、視察者、選手家族・一般観戦者 会場への来場者:4日間合計3,371人 観覧艇による観覧者:2日間合計897名 現地中継放送視聴者:1,000名以上 ②観客、選手・関係者 約50人
8	ウエイトリフティング		会場内の表示装置にて以下を上映 ・競技紹介の映像 ・初心者にもわかるようにマンガで作成した競技の解説動画 ・日本を代表する選手の競技の様子	令和7年10月3日(金)～7日(火) ※競技開始前や休憩時間に上映	滋賀県立安曇川高等学校体育館	高島市	来場した一般観戦者及び参加者 (5日間合計約5,000名)
9	ソフトテニス		トップアスリートによるトークショー	令和7年10月4日(土) 16:00～	長浜文化芸術会館 大ホール	長浜市	小学3年生～中学生の選手、保護者
10	軟式野球		キャッチボールイベント	令和7年10月4日(土) 9:30～11:00	ひばり公園ひばりグラウンド	東近江市	滋賀県軟式野球連盟 登録 学童チーム 約200名(約20チーム)
11	相撲		「相撲体操」講習会	令和7年9月26日(金)14:00～15:40	長浜市立古保利小学校	長浜市	小学1年生～6年生 70名
12	馬術		①馬とのふれあいイベント(引き馬、馬車試乗、にんじんタイム)実施 ②馬術競技観戦者に対する観戦ミニガイドの無料配布 ③競技のインターネットライブ配信に加え、放送委員による実況および競技のわかりやすい解説	令和7年9月29日(月)～10月3日(金)	三木ホースランドパーク (兵庫県三木市／馬術競技会場)	兵庫県三木市	競技観戦者

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)の各競技会場におけるイベント事業について

令和7年12月11日

	競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場		参加者・対象者
13	柔道		全日本強化選手(男女各1名)による ・得意技の披露 ・地元柔道少年(小学生)との練習会 ・トークイベント	令和7年10月6日(月) 11:20～11:50	長浜伊香ツインアリーナ	長浜市	・地元小学生17名
14	弓道		弓道体験コーナー	・令和7年9月26日(金)12:00～17:00 ・令和7年9月27日(土)10:00～15:00 ・令和7年9月28日(日)9:00～17:00 ・令和7年9月29日(月)9:00～17:00 ・令和7年9月30日(火)9:00～17:00 ・令和7年10月1日(水)9:00～14:00	プロシードアリーナHIKONE	彦根市	一般観戦者(子供～高齢者)652人
15	ライフル射撃		①ビームライフル・ビームピストル体験射撃コーナー ②ビームピストル体験射撃コーナー	①令和7年10月5日(日)13:00～17:00 ②令和7年10月4日(土)～6日(月)9:00～14:00	①能勢町 淨るリシアター ②滋賀県警察学校	①大阪府豊能 郡能勢町 ②大津市	①小中学生及び一般(高校生以上)を対象とし、先着順とする。(約100名) ②小中学生及び一般(高校生以上)を対象とし、先着順とする。(延べ566名)
16	カヌー	SL/WW	レジェンドカップ(往年の各選手によるスラロームレース)	令和7年10月5日(日)スラローム15ゲート	瀬田川特設カヌー競技場	大津市	往年の名選手6名、観客
		スプリント	①カヌーの試乗会 ②初心者向けのカヌー体験教室	①令和7年10月3日(金)～6日(月) ②令和7年11月上旬	伊庭内湖特設カヌー競技場 (能登川水車とカヌーランド)	東近江市	①一般観覧者(50人程度) ②小学生から大人までのカヌー初心者(30人程度)
17	アーチェリー		アーチェリー体験コーナー	・令和7年10月5日(日) ・令和7年10月6日(月) ・令和7年10月7日(火) ※競技会期間中、随時開催	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	愛荘町	10月5日(日) およそ250名 10月6日(月) およそ100名 10月7日(火) およそ50名
18	空手道		①仰木太鼓による和太鼓の演奏 ②大津市空手道連盟の子どもたちによる形演武 (4コートに分かれての団体形)	令和7年10月5日(日)12:30～ ※15分程度	滋賀県立体育館(ウカルちゃんアリーナ)	大津市	①仰木太鼓 30名 ②大津市空手道連盟 小・中学生50名
19	銃剣道		開催地及び開催県小学生・中学生による演武披露 ①小学低学年児童による銃剣道基本技形演武 ②中学生による銃剣道基本・応用技 ③中学生による銃剣道の形演武	令和7年10月4日(土) 9:40～9:50	高島市新旭体育館	高島市	高島市市民約200名
20	なぎなた		①全日本なぎなた連盟ホームページ、国スポなぎなた競技のプログラムへのアクセス方法等を紹介 ②応援感謝メッセージボードの設置 ③授業ノート(なぎなたの特性・歴史・ルール・礼法・豆知識等)の掲示や配布 ④なぎなたのイラストを用いたぬりえコーナーの設置	令和7年9月29日(月)～30日(火)	パナソニック株式会社くらシアプライアンス 社彦根工場	彦根市	会場に応援・見学・視察に来ている方(彦根工場社員の 方含む)、選手・監督・競技役員等(約500人)
21	ボウリング		ふれあいボウリング	令和7年9月27日(土) 17:15～19:00	ラピュタボウル彦根	彦根市	滋賀県内に在住・在勤・在学している方27名

1. 第79回国民スポーツ大会(滋賀県)各競技会場におけるイベント事業実施概要

主催	: 公益財団法人日本スポーツ協会、中央競技団体
主管	: 都道府県競技団体(会場地市町村)
開催目的	: 競技の魅力を広くPRすること
開催期間	: 令和7(2025)年9月6日(土)～10月8日(水) ※会期前①～本会期競技会中
入場料	: 無料
会場	: 当該各競技会場及びその周辺施設
競技数	: 21競技



アーチェリー



テニス



軟式野球

2. 競技団体及び会場地実行委員会の所感

<競技団体>

- 競技を知らない観客もいる中で、リアルタイムで何の反則があったのかなどをわかりやすく解説を行ったことで、より臨場感を持って観覧していただくことができた。(ホッケー)
- 体験者から“こんなに難しいものとは思わなかった、でもやってみると楽しかった、またやりたい”との感想をいただき、子供から高齢者まで幅広い層での弓道体験を楽しんで貰うことができた。(弓道)
- 質問コーナーでは、参加した子どもたちから積極的に手が挙がり、トップアスリートに直接質問しようとする姿勢が非常に印象的であった。また、保護者の方々からも競技への理解を深めようとする質問が寄せられた。(ソフトテニス)

<会場地実行委員会>

- 老若男女問わず、座ったままでも体を動かすことで健康増進につながることを実感してもらい、体操競技だけではなく、体を動かすことそのものに興味・関心を持ってもらういい機会であったと感じた。
(大津市・体操)
- 基本練習で、講師の方の見本を見ながら一生懸命まねをしようとする子どもたちの姿が印象的であった。
(草津市・バレーボール)
- 全日本強化選手からの直接指導、競技会場での練習会の開催により、参加の子どもたちは非常に貴重であり、一生記憶に残るような経験ができた。参加者、保護者から大変好評であった。(長浜市・柔道)

第80回国民スポーツ大会競技会会期(案)

<冬季大会>

【スケート競技会・アイスホッケー競技会】

会場地	式典・競技		日程										会場
			1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	
			金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
八戸市	開始式			AM ◎									八戸市公会堂
	表彰式	スケート										PM ◎	YSアリーナ八戸
		アイスホッケー										PM ◎	YSアリーナ八戸
	スケート	スピード				◇	◇	◇	●	●	●	●	YSアリーナ八戸
		フィギュア	◇	●	●	●	AM ●						FLAT HACHINOHE
		ショートトラック		◇●	●								三沢アイスアリーナ
八戸市	アイスホッケー					◇	◇	●	●	●	●	●	テクノルアイスパーク八戸 FLAT HACHINOHE
三沢市						◇	◇	●	●				三沢アイスアリーナ

【◎:開始式・表彰式、●:競技、◇:公式練習】

【スキー競技会】

会場地	式典・競技		日程				会場
			2/14	2/15	2/16	2/17	
			土	日	月	火	
大鰐町	開始式		PM ◎				平川市文化センター
	表彰式					PM ◎	
	アルペン			●	●	●	大鰐温泉スキー場
	クロスカントリー			●	●	●	
鹿角市	スペシャルジャンプ		◇	●			花輪スキー場
	コンバインド	ジャンプ	◇	◆	●		
		クロスカントリー			●		

【◎:開始式・表彰式、●:競技、◇:公式練習、◆:予備ラウンド】

第80回国民スポーツ大会冬季大会概要[令和8(2026)年1・2月開催]

開催地/会期/スローガン/大会愛称

●スローガン・テーマ

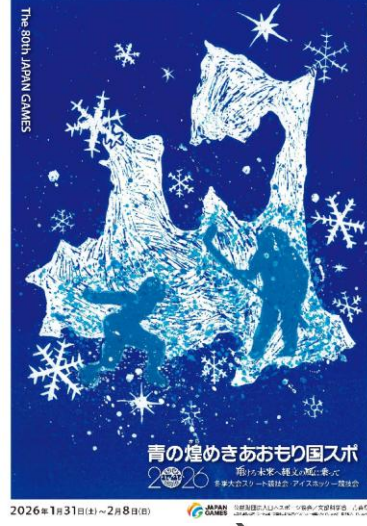
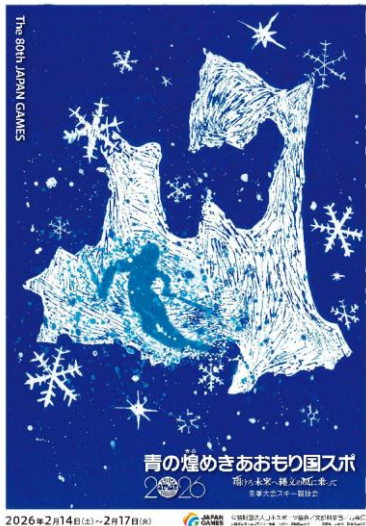
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会

●大会公式ポスター



2026年1月31日(土)～2月8日(日)

2026年1月31日(土)～2月8日(日)

スキー競技会
・2/14(土)～2/17(火)

大鰐町

(ジャイアントスラローム/
クロスカントリー)

秋田県鹿角市

(スペシャルジャンプ/
コンバインド)

スケート・アイスホッケー
競技会

・スケート(フィギュア・ショート)

:1/31(土)～2/3(火)

・スケート(スピード)

:2/5(木)～2/8(日)

・アイスホッケー

:2/4(水)～2/8(日)

三沢市

(ショートトラック)

八戸市

(スピード/フィギュア)



●青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
公式マスコット「アップリート君」 75

令和 7 年 12 月 11 日
青森県国スポ・障スポ局

第 80 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会 雪不足における対応方針

(公財) 日本スポーツ協会、(公財) 全日本スキー連盟、(一財) 青森県スキー連盟、秋田県スキー連盟、大鰐町実行委員会、鹿角市実行委員会との協議の結果、以下のとおりとする。

1 対応方針

○予算の範囲内で必要な措置を行う

選手の安全確保、大会関係者、県、大鰐町及び鹿角市の人的及び財政的負担軽減を図ることを基本とし、降雪量が少なく、大会運営に支障が生じる場合

○大会の 2 週間前までに開催の可否を判断

大会関係者への影響を最小限に抑えるため

○別会場への会場変更は行わない

競技運営に係る用具等の運搬及び会場設営等に要する新たな財政負担が発生するため

2 スケジュール

期日	スケジュール
R7. 11. 13	第 1 回組織委員会 (S A J、青森県スキー連盟、秋田県スキー連盟、青森県、大鰐町、鹿角市)
R7. 12. 11	J S P O 第 3 回国民スポーツ大会委員会
R8. 1. 30	第 2 回組織委員会 (開催の可否判断) * 中止判断の場合、主催者連絡会議招集
R8. 2. 12	第 3 回組織委員会
R8. 2. 14～17	冬季大会スキー競技会

第80回国民スポーツ大会冬季大会
トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置対象者数

令和7年12月11日現在

No.	競技名	対象区分※				第80回冬季大会 対象者数	第79回冬季大会 対象者数	増減数
		①	②	③	④			
1	スキー	○	○	○		36 名	39 名	-3 名
2	スケート	○	○	○	○	118 名	120 名	-2 名
3	アイスホッケー	【対象者なし】				—	—	—
		合計				154 名	159 名	-5 名

- ※対象区分：① 北京オリンピック競技大会参加者
② JOCオリンピック強化指定選手
③ 国内ランキング上位10位以内
④ 中央競技団体強化指定選手

トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項）

1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
 - (1) JOC オリンピック強化指定選手
 - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2. 特例の内容

1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

(1) 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

1. 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
 2. 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
 3. 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
 4. 当該住居に主要な家財道具が存すること
- ② 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

(2) 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- ② 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3. 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③の通りとする。

4. 特例の適用に係る手続き

- 1) 正式競技実施中央競技団体は、当該大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）現在における「1. 特例の対象となる選手」の氏名等を別に定める様式により、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会は、「国民スポーツ大会参加申込システム」内にて、特例対象選手一覧を公表する。
- 3) 参加都道府県体育・スポーツ協会は本特例活用者を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

5. その他

本特例に定めのない事項については、必要に応じ国民スポーツ大会委員会において協議するものとする。

附則

本特例は、平成23年12月15日に制定し、第67回本大会より施行する。

本特例は、平成26年5月15日に改定し、第69回本大会より施行する。

本特例は、平成29年6月16日に改定し、第73回より施行する。

本特例は、平成30年4月1日に改定し、同日より施行する。

本特例は、令和5年4月1日に改定し、同日より施行する。

本特例は、令和6年1月1日に改定し、同日より施行する。

日本のひなた宮崎 国スポ 会場地市町村選定状況一覧【競技別】

【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設	備考
総合開・閉会式	都城市	KUROKIRI STADIUM	ネーミングライツ導入に伴う変更。

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

【正式競技】

番号	競技(種目)	種 別	市町村	開催予定施設	備考
1	陸上競技	全種別	都城市	KUROKIRI STADIUM	ネーミングライツ導入に伴う変更。
2	水泳	競泳	宮崎市	パーソルアクアパーク宮崎	ネーミングライツ導入に伴う変更。
		飛込	熊本県熊本市	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	
		水球	宮崎市	パーソルアクアパーク宮崎	ネーミングライツ導入に伴う変更。
		アーティスティックスイミング	少年女子 宮崎市	パーソルアクアパーク宮崎	ネーミングライツ導入に伴う変更。
		オープンウォータースイミング	全種別 延岡市	須美江海水浴場特設会場	
3	サッカー	成年男子	綾町	綾錦原サッカー場 綾小田爪多目的競技場 綾てるはふれあい広場	
		少年女子	西都市	清水台総合公園多目的広場	
		少年男子	新富町	新富町フットボールセンター いちご宮崎新富サッカー場 (仮称) 富田浜公園	
4	テニス	全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園庭球場	
5	ローイング	全種別	小林市	(仮称) 小野湖特設ローイング競技場	
6	ホッケー	全種別	都農町	都農町藤見公園	
7	ボクシング	全種別	えびの市	えびの市民体育館	
8	バレーボール	6人制	成年男子	日南市	日南市北郷体育館
			成年女子	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
			少年男子	都城市	早水公園体育文化センター
			少年女子	小林市	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設
	ビーチバレーボール	全種別	日向市	お倉ヶ浜海岸特設会場	
9	体操	競技	全種別 延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
		新体操	全種別		
		トランポリン	全種別 小林市	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設	
10	バスケットボール	成年男子	都城市	早水公園体育文化センター	
		成年女子		早水公園体育文化センター 高崎総合公園総合体育館	
		少年男子	日向市	(仮称) 日向市総合体育館	
		少年女子	日向市	(仮称) 日向市総合体育館 宮崎県立日向高等学校体育館	
			美郷町	美郷町北郷総合交流センター	
11	レスリング	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	
12	セーリング	全種別	日南市	日南市大堂津特設セーリング会場	
13	ウエイトリフティング	全種別	小林市	小林市文化会館	
14	ハンドボール	成年男女	綾町	綾てるはドーム	
		少年男女	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館	
15	自転車	トラックレース	全種別 宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場	
		ロードレース	全種別 串間市	串間市特設ロードレースコース	
16	ソフトテニス	成年男女	都城市	都城運動公園庭球場	
		少年男女	宮崎市	宮崎市生目の杜運動公園テニスコート	
17	卓球	全種別	宮崎市	宮崎市総合体育館	
18	軟式野球	成年男子	延岡市	西階公園野球場	
			日向市	お倉ヶ浜総合公園野球場	
			高鍋町	高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	
			川南町	川南町運動公園野球場	
			門川町	門川海浜総合公園野球場	
			西都市	西都原運動公園野球場	

番号	競技(種目)		種 別	市町村	開催予定施設	備考
19	相撲		全種別	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園 G-パーク五ヶ瀬ドーム	
20	馬術		全種別	綾町	綾馬事公苑	
21	フェンシング		全種別	国富町	アリーナくにとみ	
22	柔道		全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
23	ソフトボール		成年男子	延岡市	西階公園野球場	
				門川町	門川海浜総合公園野球場	
			成年女子	宮崎市	宮崎市清武総合運動公園 SOKKEN スタジアム・第2野球場	
			少年男子 少年女子	日向市	お倉ヶ浜総合公園 野球場・運動広場・第2多目的広場	
24	バドミントン		全種別	高鍋町	井上スポーツセンター高鍋町総合体育館	
25	弓道	近的	全種別	串間市	串間市総合運動公園特設弓道会場	
		遠的	全種別			
26	ライフル射撃	50m	全種別	宮崎市	宮崎県ライフル射撃競技場	
		10m・AP	全種別		宮崎市田野体育館	
		BR・BP	全種別			
		CFP	成年男子	宮崎市	宮崎県警察学校射撃場	
27	剣道		全種別	高千穂町	高千穂町武道館	
28	ラグビーフットボール	7人制	成年男子 女子	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場	
		15人制	少年男子		ひなた宮崎県総合運動公園 ラグビー場・ひなた陸上競技場	
29	スポーツライミング	リード	全種別	木城町	木城町体育館スポーツライミング特設会場	正式名称が決まったことに伴う名称変更。
		ボルダー			木城町体育館	
30	カヌー	スプリント	全種別	小林市	(仮称)小野湖特設カヌー競技場	
		スラローム	全種別	鹿児島県 湧水町	湧水町森の瀬特設カヌー競技場	
		ワイルドウォーター	全種別			
31	アーチェリー		全種別	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場	
32	空手道		全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館	
33	銃剣道		全種別	三股町	三股町武道体育館	
34	なぎなた		全種別	日之影町	日之影町立日之影中学校体育館	
35	ボウリング		全種別	宮崎市	宮崎エースレーン	
36	ゴルフ		成年男子	宮崎市	宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部	
			女子		宮崎カントリークラブ	
			少年男子		ハイビスカスゴルフクラブ	
37	トライアスロン		全種別	宮崎市	みやざき臨海公園特設会場	

【特別競技】						
番号	競 技		種 別	会場地	競技会場	備考
1	高等学校野球	硬式	—	日南市	天福公園野球場 日南総合運動公園野球場	
		軟式	—		南郷中央公園野球場	

【公開競技】						
番号	競 技		種 別	会場地	競技会場	備考
1	綱引		全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	
2	ゲートボール		全種別	都城市	都城運動公園陸上競技場	
3	武術太極拳		全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
4	パワーリフティング		全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
5	パウンドテニス		全種別	都城市	早水公園体育文化センター	
6	エアロビック		全種別	木城町	木城町体育館	

第5期実施競技選定

(1)趣旨

国民スポーツ大会開催基準要項第10 項(1)に定める国民スポーツ大会の実施競技を4 年毎に見直す。

10 大会の実施競技及び種別並びに参加人員

(1) 実施競技は、別に定める「国民スポーツ大会における実施競技について」に基づき選定された競技を対象とし、4 年毎に見直すものとする。

※現在は第3期実施競技選定の競技にて大会を実施(第79回大会～第81回大会)

※第82 回大会(令和10〔2028〕年)～第85 回大会(令和13〔2031〕年)については、第4期実施競技選定の結果に基づき、競技を実施する。

(2)対象大会:第86回大会(令和14〔2032〕年)～第89回大会(令和17〔2035〕年)の4大会

【本大会開催地】山梨県／鳥取県／沖縄県／三重県 【冬季大会開催地】未定

(3)競技選定の対象区分:正式競技・公開競技(※デモンストレーションスポーツ、特別競技は選定しない)

(4)第5期実施競技選定の主な変更点〔令和5年度第1回国スポ委員会〕

隔年実施競技の廃止(第3期:クレール射撃競技・ボクシング競技／第4期:馬術競技・なぎなた競技)

【報告事項6】 第5期実施競技選定

(6)対象:JSPO加盟中央競技団体60競技団体

【正式競技希望団体】42団体

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、ダンススポーツ／スキー、スケート、アイスホッケー

※ダンススポーツ:第4期は公開競技

【公開競技希望競技団体】10団体

綱引、少林寺拳法、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、バウンドテニス、エアロビック、スポーツチャンバラ、ペタンクボール、日本拳法

※ペタンクボール・日本拳法:第4期は不参加

【国スポ不参加競技団体】8団体

近代五種、ボブスレー・リュージュ・スkeleton、野球競技、カーリング、オリエンテーリング、グラウンドゴルフ、バイアスロン、チアリーディング

※グラウンド・ゴルフ:第4期は公開競技



【正式競技】合計40競技以内(本大会:37競技以内、冬季大会:3競技以内)

【公開競技】合計10競技以内(本大会のみ) ※令和5(2023)年第1回国スポ委員会決定事項

【報告事項6】 第5期実施競技選定

(7)スケジュール(予定)

○書面調査(令和7年1月末×切)

○書面調査の評価(~9月末)

○ヒアリング(補足説明の機会)実施(11月中旬)
※対象団体かつ希望団体のみ

○国民スポーツ大会委員会にて審議(令和8年3月3日)

○日本スポーツ協会理事会にて審議、最終承認(令和8年3月4日)